

「知財ビジネス評価書」を活用した事業性評価による融資の取組みについて ～当行第6号案件～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、この度、株式会社イーボックス（代表取締役 村田 敬一）に対し、「知財ビジネス評価書」を活用して事業性評価を行い、融資いたしましたのでお知らせします。

「知財ビジネス評価書」は特許等の知的財産を切り口に、第三者機関である評価機関が企業の事業内容を評価するものであり、特許庁では「知財ビジネス評価書」の普及と金融機関による活用を促すため評価書の作成支援事業を実施しております。

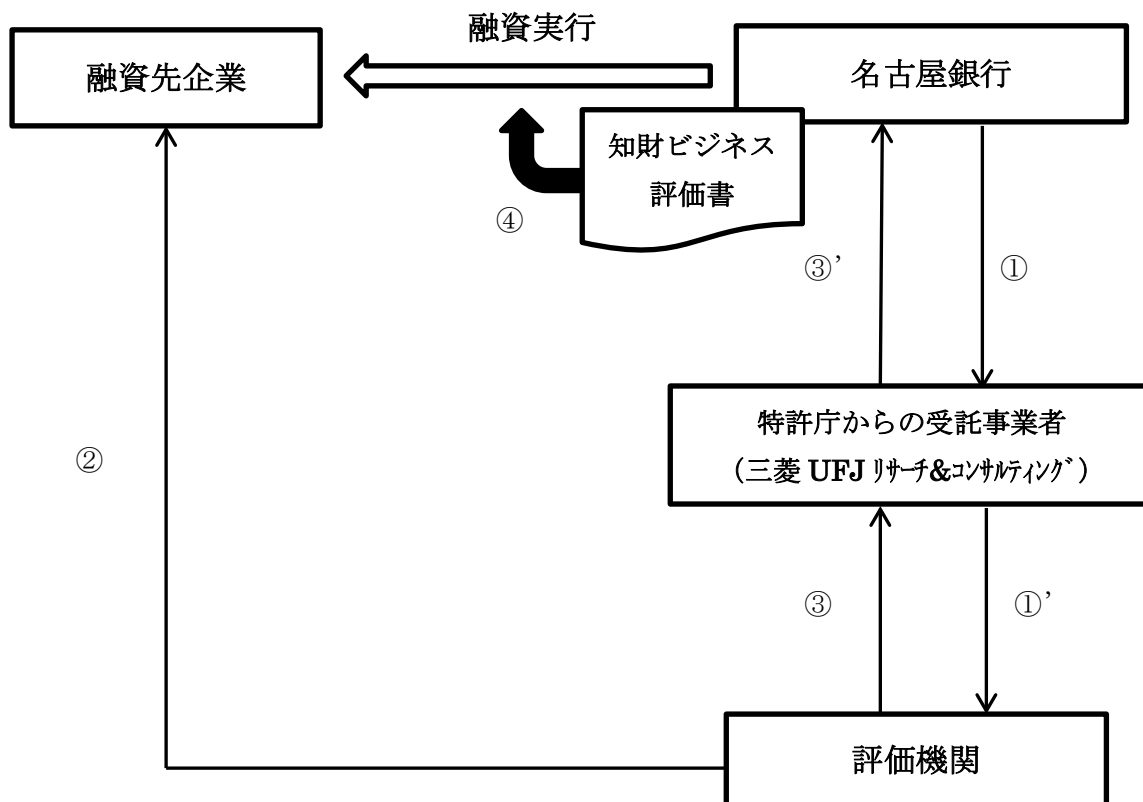
当行では、地元企業の円滑な資金調達をサポートするためこの事業に参画し、これまで10社の評価書作成に取り組んでおります。今回、この「知財ビジネス評価書」の分析結果により、同社が保有する技術を企業力の適切な評価に役立てることができました。同評価書を活用した融資としては当行第6号案件となります。

当行は、引続き地域の皆さまのニーズを捉えた情報・サービスの提供を行ってまいります。

【株式会社イーボックスの概要】

所在地	名古屋市市中川区富田町大字榎津字下松下道 1650
代表者	村田 敬一
設立	2013年4月
業種	空調用熱交換器専用乾燥装置の開発・製造・販売
資本金	1百万円
従業員	6名
事業の特色	<p>空調用（エアコン）熱交換器を製造する過程での乾燥装置を開発しております。熱交換器の製造過程で必要な炭化水素系揮発油の脱脂乾燥処理を行う際、従来はガス加熱による熱エネルギーを用いた方法が主流でした。しかし、その方法では環境面、省エネ性において多くの課題がありました。そこで開発したのが水流エネルギーを用いた油分脱脂乾燥装置「スパイダー」です。</p> <p>「知財ビジネス評価書」は、環境面では排ガスレス、省エネ性では加熱コスト削減を可能にする同社の特許「乾燥装置及び乾燥方法」を高く評価しています。当技術は、日本国内のみならず国際的な環境志向と生産コストの削減を背景に、今後の事業拡大においてポテンシャルを持っている知的財産です。</p>

〈知財ビジネス評価書を活用した融資の流れ〉



- ① 名古屋銀行は、特許庁からの受託事業者である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に「知財ビジネス評価書」の作成を依頼します。依頼を受け、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は、特許庁指定の評価機関宛てに、調査及び「知財ビジネス評価書」作成を委託します。
- ② 評価機関は、調査対象となる企業に訪問し、事業に関するヒアリングや実地調査等を行います。
- ③ 評価機関は、②に基づいて「知財ビジネス評価書」を作成し、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社を通じて、名古屋銀行に送付します。
- ④ 名古屋銀行は、「知財ビジネス評価書」をもとに、事業の現状や見通し等を多面的に把握した上で、融資の審査をいたします。

以 上